

# 人間の臭い

寄場・日産・野宿

橋安純の朗読



## 寄場詩人 橋安純さんを囲んで

### ＝こうちネットホップの学習会のご案内＝

今回のゲストは寄場詩人の橋安純さん。路上生活に至った経過や現在の心境などについてお聞きします。

橋安純さんは、1990年1月に「寄場詩人」を月刊で発行し、有名となる。「寄場詩人」は1995年まで続く。路上で、句を書いた段ボールの紙を売ることもあった。「にしなり」の有名名人である。(ウィキペオ宅百科事典より)

東京生まれ。高校時代不登校になり精神病院に強制入院させられる。20代で横浜市寿町で一人住まいを始め、39才で大阪釜ヶ崎へ。1998年5月から、それまでのドヤ(簡易宿泊所)住まいから野宿となりました。当初は毎晩、寝場所を探しながら、あっちこっちと自転車で放浪し、天王寺美術館と動物園を結ぶ通路で小屋生活。句集「地球にねてる」など詩集を発行。

現在、遍路生活野宿生活 [henroseika.exblog.jp](http://henroseika.exblog.jp)

で発信している。最近は、「毎日巡礼ヒロユキ」として四国巡礼を続けている。

○日 時：7月27日(土)午後2時

(受付開始：始午後1時30分 小雨決行)

午後2時：橋安純さんのお話

午後3時30分：千松公園現地視察

○会 場：種崎千松公園(貝の滑り台)

○参加費：無 料

○主 催：こうちネットホップ

※問合せは下元(090-3789-3474)まで

## 駅前野宿

俺の寝るとこ駅前歩道  
人が通るのかまいなし  
毛布かぶって横になる  
始めは他人の目気にしたが  
今じゃくつろぎケツをか  
俺の寝るとこ駅前歩道  
バスまつ人やアイツクの  
視線かんじて横になる  
始めはなかなか寝むられず  
今じゃすぐさまイビキかく  
俺の寝るとこ駅前歩道  
トラックとおるバスとまる  
若者さちぐ夜中まで  
始めは羊をかぞえたが  
今じゃたっぱり夢を見る  
俺の寝るとこ駅前歩道  
他人のめいあくかえりみず  
歩道のおきに寝ています  
始めはえんりよしていたが  
今じゃどうどう駅前野宿